

＜日商簿記2級工業簿記ミニテスト9＞組別総合原価計算

＜問題＞

当社はイカ焼機とタコ焼機の製品を製造・販売しており、原価計算方法として組間接費を使用する大量生産に適した原価計算を採用している。直接材料費は各製品に直課し、加工費は機械作業時間にもとづいて、各製品に実際配賦している。完成品総合原価と月末仕掛品原価の配分は平均法とする。次の[資料]にもとづいて、答案用紙の組別総合原価計算表を完成しなさい。

[資料]

1、生産・販売データ

	イカ焼機	タコ焼機
月初仕掛品	1,000 (40%)	0
当月投入	<u>5,200</u>	<u>3,600</u>
合計	6,200 個	3,600 個
月末仕掛品	<u>1,200</u> (60%)	<u>0</u>
当月完成	<u>5,000</u> 個	<u>3,600</u> 個

(注) () 内は加工進捗度を示す。材料は工程の始点で投入している。

2、当月の加工費 5,250,000 円

3、

	イカ焼機	タコ焼機
当月の直接作業時間	440 時間	810 時間
当月の機械作業時間	810 時間	440 時間

組別総合原価計算表

	イカ焼機		タコ焼機	
	直接材料費	加工費	直接材料費	加工費
月初仕掛品原価	902,000	258,800	-	-
当月製造費用	4,740,000	3,402,000	3,090,000	1,848,000
合計	5,642,000	3,660,800	3,090,000	1,848,000
月末仕掛品原価	1,092,000	460,800	-	-
完成品総合原価	4,550,000	3,200,000	3,090,000	1,848,000